



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東  
 コード番号 3646 URL http://www.ekitan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金田 直之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 亀本 圭志 TEL 03-6367-5951  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,010	△30.7	47	△77.6	62	△71.1	25	△82.1
2020年3月期第2四半期	1,457	△2.1	214	△18.1	215	△17.7	143	△16.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 25百万円 (△82.1%) 2020年3月期第2四半期 143百万円 (△17.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	4.67	—
2020年3月期第2四半期	26.20	26.09

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,119	2,737	87.7
2020年3月期	3,293	2,766	84.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,737百万円 2020年3月期 2,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	△30.2	135	△60.2	150	△56.1	100	327.3	18.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 一社、除外 一社 （社名）株式会社ビジネストラベルジャパン

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	6,818,800株	2020年3月期	6,888,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,309,116株	2020年3月期	1,379,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,509,684株	2020年3月期2Q	5,478,084株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は2020年11月13日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「当感染症」）の拡大及び、それに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発令により、緩やかな回復傾向から一変して急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後、段階的に経済活動の再開がみられたものの、第二波到来により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、乗換案内を中心とした人々の移動サポート情報を中心にサービスを提供してまいりましたが、上記影響により新規会員の獲得が減少するとともに、利用者アクセス数の低下により広告収入も低迷し、また、出張及び旅行に関連するサービスの利用も低調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,010,089千円（前年同四半期比30.7%減）となり、営業利益は47,903千円（前年同四半期比77.6%減）、経常利益は62,254千円（前年同四半期比71.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25,737千円（前年同四半期比82.1%減）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間に多額の株主総会関連費用を計上しましたが、当該費用は一時的なものであり、当第2四半期連結累計期間において黒字に転換しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### ① コンシューマ向け事業

当感染症の拡大による外出自粛の影響を受け、月額課金サービスは新規顧客獲得減少、メディア広告はサービスの利用減少によりそれぞれ減収減益となり、同様にトラベル事業も出張・旅行機会の激減により減収となりました。この結果、売上高は642,867千円（前年同四半期比34.7%減）、セグメント利益は199,458千円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

#### ② 法人向け事業

ASP・ライセンスビジネス及びBTM（ビジネストラベルマネジメント）事業は、既存顧客に対する売上高の減少は限定的なものの、新規顧客の獲得は低迷し減収となりました。また、株式会社ラテラ・インターナショナルについては、2019年10月1日をみなし取得日として、連結の範囲に含めておりますが、同社の観光ガイドブック事業及びインバウンド関連事業は、当感染症の世界的な拡大の影響を受け業績が著しく悪化しており、減益の要因となりました。この結果、売上高は367,221千円（前年同四半期比22.4%減）、セグメント利益76,614千円（前年同四半期比55.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,711,060千円となり、前連結会計年度末に比べ181,310千円減少しました。これは主に、売掛金の減少151,832千円、その他の減少15,374千円、現金及び預金の減少15,152千円によるものであります。固定資産は408,631千円となり、前連結会計年度末に比べ7,042千円増加しました。これは主に、有形固定資産の減少9,980千円、無形固定資産「その他」の増加28,213千円、投資その他の資産の減少10,327千円によるものであります。この結果、総資産は3,119,691千円となり、前連結会計年度末に比べ174,268千円減少しました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は253,160千円となり、前連結会計年度末に比べ177,473千円減少しました。これは主に、その他の減少89,865千円、買掛金の減少43,460千円、役員賞与引当金の減少13,600千円によるものであります。固定負債は129,228千円となり、前連結会計年度末に比べ32,564千円増加しました。これは主に、長期借入金の増加40,000千円によるものであります。この結果、負債合計は382,388千円となり、前連結会計年度末に比べ144,908千円減少しました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,737,302千円となり、前連結会計年度末に比べ29,359千円減少しました。これは、利益剰余金の減少53,875千円、自己株式の減少35,997千円、資本剰余金の減少11,481千円によるものであります。この結果、自己資本比率は87.7%となり、前連結会計年度末に比べ3.8ポイント上昇しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,418,412	2,403,260
売掛金	427,766	275,934
原材料及び貯蔵品	1,143	2,152
その他	45,194	29,819
貸倒引当金	△146	△107
流動資産合計	2,892,371	2,711,060
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	102,147	92,166
無形固定資産		
のれん	4,317	3,453
その他	125,162	153,376
無形固定資産合計	129,479	156,829
投資その他の資産	169,961	159,634
固定資産合計	401,588	408,631
<b>資産合計</b>	<b>3,293,959</b>	<b>3,119,691</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	97,933	54,472
1年内返済予定の長期借入金	8,672	1,674
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	40,516	37,795
賞与引当金	20,664	12,365
役員賞与引当金	13,600	—
資産除去債務	2,529	—
その他	236,719	146,853
流動負債合計	430,633	253,160
<b>固定負債</b>		
長期借入金	—	40,000
資産除去債務	24,051	24,051
役員退職慰労引当金	15,480	16,560
その他	57,132	48,616
固定負債合計	96,663	129,228
<b>負債合計</b>	<b>527,297</b>	<b>382,388</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	305,013	293,531
利益剰余金	2,878,907	2,825,031
自己株式	△709,214	△673,216
株主資本合計	2,766,662	2,737,302
<b>純資産合計</b>	<b>2,766,662</b>	<b>2,737,302</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,293,959</b>	<b>3,119,691</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,457,716	1,010,089
売上原価	570,720	401,009
売上総利益	886,995	609,079
販売費及び一般管理費	672,868	561,176
営業利益	214,127	47,903
営業外収益		
受取利息	47	32
未払配当金除斥益	87	34
助成金収入	—	12,289
協賛金収入	925	—
給付金収入	—	2,000
その他	40	302
営業外収益合計	1,101	14,658
営業外費用		
支払利息	49	91
為替差損	—	216
営業外費用合計	49	308
経常利益	215,179	62,254
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	215,179	62,254
法人税等	71,667	36,517
四半期純利益	143,512	25,737
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,512	25,737

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	143,512	25,737
四半期包括利益	143,512	25,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,512	25,737

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	215,179	62,254
減価償却費	39,345	27,028
のれん償却額	863	863
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△39
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,267	△8,298
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,266	△13,600
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	△24,676	△2,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	1,080
受取利息	△47	△32
支払利息	49	91
為替差損益 (△は益)	—	216
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	16,604	151,832
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△567	△1,009
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,179	△43,460
その他	12,864	△96,474
小計	199,911	77,948
利息の受取額	47	32
利息の支払額	△49	△91
法人税等の還付額	—	18,316
法人税等の支払額	△59,040	△35,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,868	60,636
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	9,000
有形固定資産の取得による支出	△51,277	△3,465
無形固定資産の取得による支出	△17,650	△41,796
敷金及び保証金の回収による収入	—	5,289
資産除去債務の履行による支出	—	△2,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,928	△33,872
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	40,000
長期借入金の返済による支出	—	△6,998
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△54,670	△55,047
その他	△637	△655
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,308	△32,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△216
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,631	△6,152
現金及び現金同等物の期首残高	2,407,860	2,409,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,424,491	2,403,260

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった株式会社ビジネストラベルジャパンは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したことにより、当社の特定子会社に該当しないこととなり、当第2四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第2四半期連結累計期間において、新たな追加情報の発生及び前事業年度の有価証券報告書に記載した情報等について、重要な変更はございません。また、内閣官房から発出される当感染症に関する情報、政府及び各自治体における各種取組等を参考にし、前期末に行った会計上の見積りの前提となる仮定に重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	コンシューマ向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	984,548	473,167	1,457,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	984,548	473,167	1,457,716
セグメント利益	204,066	171,922	375,988

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	375,988
全社費用 (注)	△161,861
四半期連結損益計算書の営業利益	214,127

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	コンシューマ向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	642,867	367,221	1,010,089
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	642,867	367,221	1,010,089
セグメント利益	199,458	76,614	276,073

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	276,073
全社費用(注)	△228,169
四半期連結損益計算書の営業利益	47,903

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。